



言語の起源

班員 中島萌々香 緒方芽生
瀧頭鈴菜 松田栖々乃

指導者 山中千聡先生

研究の動機

中国語、日本語、韓国語はそれぞれ漢字がもとになっている言語だが、どうしてこのように違う言語に分かれてしまったのか、その背景には歴史が関係しているのか知りたかったから。

○中国

神との対話のために作られた甲骨文字が漢字のもととなった。漢字は比較的他の国からの影響を受けずに使われ続けたが、昔から中国にはさまざまな民族が存在し、方言が混在した。統一後は簡体字がメインに使われている。

→昔からあるものも、すぐに新しいものに変更できるという傾向があるのではないかな？

→時代の変化に対応しつつ、漢字を使い続けたのではないかな？

○韓国

もともとは漢字を使っていたが、識字率が低く、誰にでも簡単に読み書きできるハングルが世宗大王らによって作られたが、すぐにまた漢字が使われるようになる。しかし日本の植民地支配からの解放後に再び使われるようになった。

→新しい、独自のものを作り出すような傾向があるのではないかな？

→日本人が読める漢字を使いたくなかったのではないかな？

→日本人がわからない文字を使いたいという思いと、識字率を上げるために、独自の文字を作ったのではないかな？

啊 아 あ

先行研究

中国、日本、韓国、ベトナム、それに北朝鮮が、歴史的に漢字を使用してきたいわゆる漢字文化圏であるが、これだけの例をみてもわかるように、漢字文化圏における漢字の使われ方は極めて複雑である。

(漢字と東アジア-訓読の文化圏より)

研究方法

- ①それぞれの国の言語の歴史を調べ、まとめる。
- ②大学の教授や漢字などに詳しい方に話を聞いてまとめる。
- ③①, ②で得た情報をもとにそれぞれの国でどのようなメリットや理由があって変化したかを予測する。

仮説

言語の特徴はその国の文化や歴史と関係しているのではないかな。

参考文献

「漢文と東アジア-訓読の文化圏」

著者 金 文京

発行所 株式会社岩波書店

発行者 山口 昭男

韓国における漢字廃止政策-立命館大学

(http://www.ritsumeit.ac.jp/ir/isaru/assets/file/journal/30-2_06LEE.pdf)

研究結果

○日本

中国から朝鮮、日本へと漢字が伝わり平安時代にはひらがなやカタカナが日本独自の文字として成立した。日本の漢字は古来の中国で使われていた漢字の名残が一番表れている。

→日本人は素直に漢字を受け入れるような傾向があったのではないかな？

→中国から来た漢字を尊重しつつ、歌や物語の中に日本独自の文化をうつし出せる文字を作ったのではないかな？

亀

日本漢字

龜

繁体字

龟

簡体字



<https://toa-t-materials.com/2018/07/09/kantaji-001/>

文字の歴史



考察

どの国の言語も、文化や歴史からの影響を受けて変化したことがわかった。さらにその国の国民性が表れているのではないかと予測する。

謝辞

ご指導いただいた菊次先生、山中先生、松原先生、インタビューにご協力いただいた神奈川大学の松浦教授、感謝申し上げます。